

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月 日			
平成15年度	事業コード	21210	電話	042-769-8245
担当部課名	環境事業部	ごみ減量推進	課	リサイクル 班
事務事業名	資源分別回収事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	63以前▼年度
施策名	第1施策	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律 相模原市資源分別回収事業奨励金交付要綱・相模原市資源分別回収事業補助金交付要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

▼ その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

▼ なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
ごみ(一般ごみ)の中に含まれるびん類、かん・金物類、紙類、布類の4種類を分別回収することにより、ごみの減量と資源の有効利用を図るとともに、最終処分場を始めとする廃棄物処理施設の延命化を図る。	市民一般 対象数 616,280人 247,410世帯
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
回収見込量 33,800トン(びん類 5,570トン、缶・金物類 3,630トン、紙類 22,530トン、布類 2,070トン) ・奨励金 地区自治会連合会 49,500千円(回収量に応じて按分) 市自治会連合会 900千円 ・補助金 回収業者 537,420千円(補助単価 @15,900円/トン)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	第三期相模原市分別収集計画
計画年次	15年度～19年度
回収品目の追加と保管等施設の整備	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
			12	13	14	15	16
成果指標	生活系ごみに占める資源化率 生活系ごみ量に対する資源回収量の比率(目標値20%) 当該年度比率÷目標値*100 H12:17.1% H13:17.6% H14:18.3%	資源化率の推移から、市民の分別排出への協力・浸透度合いをみる	85	88	91	95	100
活動指標	回収量増減率 本年度回収総量÷前年度回収総量*100 H11:32,032t H12:32,994t H13:33,511t H14:33,800t	回収量増減率から、市民の分別排出への協力・浸透度合いをみる	103	101	100	103	105

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)	
事業費	決算(予算)額	575,009	583,132	587,820	601,065	607,416
	人員・時間数	0.5人・年間	0.5人・年間	0.5人・年間	0.5人・年間	0.5人・年間
	人件費	4,195	4,195	4,195	4,195	4,195
	その他経費					
	合計	579,204	587,327	592,015	605,260	611,611
	特定財源					
	対象数					
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	成果指標でみると市民のリサイクル意識は確実に高まってきているが、活動指標では排出された資源の抜き取り被害等が影響し増減にばらつきがみられる。回収品目の追加の必要性など考慮すると、事業目標は達成半ばと思われる。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 本事業は、市民のリサイクル意識の高揚とごみの減量化・資源化の推進に適應している。また、本事業は、地区自治会連合会と回収業者との協定に基づき実施されているが、分別回収は法において市町村の責務とされている。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	本事業は、人と自然にやさしい地域社会をつくりリサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進に直接的に寄与する事業である。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 回収経費の増加やごみ置場数の増加など業者負担が増大している中で補助単価を据置いてきていることや、地区自治会連合会への奨励金見直しの必要性などから、一部改善の余地があるものとした。
(5)公平性 評価 ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 新たな回収品目の追加やリサイクル意識高揚のための自主的な取り組みを促すことで、成果の向上が期待できる。	手段	使途目的の明確化による奨励金の見直しにより、事業費削減の余地はある。
		削減額	千円

11 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	平成6年度からの資源回収量の推移を政令指定都市を除く県内各市と比較すると、本市は平成12年度まで最も高い位置で確実に増加の傾向を示してきたが、平成13年度は、リサイクルプラザの稼働を始め減量化・資源化システムを整備した横須賀市が、資源回収量の大幅な増加と突出した値を示している。また、資源化率では、本市は県内17市中ほぼ平均的な位置にある。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 ごみの減量と環境負荷の低減には資源の分別回収が不可欠であり、これまでの成果を更に向上させるため、新たな回収品目の追加やリサイクル意識高揚のための自主的な取り組みを促すなど施策内容の拡充を前提に事業を継続させる。また、事業の継続とともに、市民ニーズに適應した回収方法や奨励制度のあり方について、今後検討していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

補助金のあり方について見直しを検討すること
